

基本研修：地域医療

I. 概要

市内診療所、院内総合内科及び緩和医療科での研修を1ヶ月間行い、地域における保健医療および第一線での医療の実際を経験する。研修期間1ヶ月の内訳としては、小嶋外科胃腸科医院で1日、静内病院で2週間、残りの期間は総合内科及び緩和医療科で訪問診療や在宅ホスピスケアなどを研修する。

II. 医師リスト

研修指導責任者： 小 山 滋 豊（総合内科）
指 導 医： 田 邊 淳（緩和医療科）
 葛 西 孝 健（総合内科）
上 級 医： 高 井 哲 史（健診センター・非常勤）
 宮 川 晃（総合内科・非常勤）
 小 嶋 泰 彦（小嶋外科胃腸科医院院長）
 井 齋 偉 矢（静内病院院長）
医 師： 下 谷 陽 子（総合内科）
 米 永 一 理（総合内科）
 水 野 隆 史（総合内科）

III. 研修目標

1. 一般目標

地域医療の現場を体験し、地域における医療のニーズを理解し医療の社会性とプライマリケアの実際を理解する。

2. 行動目標

- ① 最前線の医療とは何であるか理解する。
- ② 病歴と理学的所見から鑑別診断を考える姿勢を身につける。
- ③ 専門医へのコンサルテーションの適応や緊急性を判断する。
- ④ あるべき病診連携の姿を理解する。
- ⑤ 長期に患者を診ることの重要性、魅力を理解する。
- ⑥ 患者のバックグラウンドを理解し、さらに家族とのコミュニケーションの重要性も理解する。